



バラの会
まつさか まさお
松坂 昌應 議員

島原観光の方向性

Q 島原観光の売りは？

A 世界ジオパーク認定の大地と有明海、山の幸、海の幸、湧水、歴史的資源など、いろいろな観光コンテンツに恵まれている。見て、触れて、感じて楽しめる。ひっくるめて島原観光の売りであると思う。

Q 観光島原の玄関は？

A 自家用車で来る、船で来る、列車で来るなど、交通手段それぞれに受入れ窓口がある。

Q 商店街をつなぎ観光コースの中に

ある島原市役所だが、（大屋根広場には）観光案内のマップも、観光おもてなし課への誘導表示もない。役割を果たしているのか。

A 職員が働く庁舎ではなく、市民皆さんの共有財産である。あらゆる角度から市民の皆さんに活用されてこそ投資効果が表れる。

観光の入り口としても、工夫すべき課題であると思う。

新庁舎駐車場整備（再）

Q 総務課の一存で、当初案を無視

してクスノキをなくしたり、湧水施設をなくそうとしたり、それでいいのか。三角駐車場は、市民の意見も聞かず、一方的に（これまで利用できていた）観光客や商店街来訪者を排除した。これから整備する庁舎駐車場に有料ゲートを設けて、需要に応えるべき。

A 数百万円の収入にもなること、観光地としての市役所の在り方、商店街や地域の方々の希望など、駐車場二期工事後に、いろんな観点から考えたい。

Q 市役所向かいの踏切の危険解消

の歩道拡張のため、駐車場敷地を80センチでも山側にセットバックを。

A 横断歩道付け替えには2〜3メートルが必要で、それは難しい。



実践クラブ
まわたり みつはる
馬渡 光春 議員

コロナ禍での令和3年度当初予算編成

（一） 予算編成に向けた3期目の古川市長の基本姿勢と基本方針は？

Q ①各部からの予算要求額は？
②当初予算は同規模自治体と比較しどうか？

A コロナ禍で市税が大幅減、交付税合併算定替終了、国勢調査の人口減で大幅な減収と予測。

①予算要求額は約240億円。経常的管理費3%、臨時的経費10%、単独補助金を基本的にカットした。

②類似団体の平均より約30億円多い状況。

（二） 歳入予算？

Q ①地方交付税2.7%増、市税6.9%減の要因と見通しは？
②合併算定替が終了、一本算定の差額は？
③国勢調査による人口減の状況と交付税影響額は？
④新たな財源確保でふるさと納税や市広報誌の広告収入は？

A ①基準財政収入額の減で地方交付税は約1億5千万円の増、市税

はコロナ禍の影響で約3億2千万円減少するが、減収の大部分は国の補填がある。②一本算定の差額は約3億2千万円。③2076人の減で約1億6400万円減少。④ふるさと納税はサイトの充実など力を入れた。広告収入は例年約240万円。

（三） 歳出予算？

Q ①義務的経費、物件費等の増加の要因は？
②各種事業評価や効果検証の取組は？

A ①高齢化で社会保障費、公債費が増、可燃ゴミ収集の民間委託費の財源組替や国保、介護保険の負担金が増加。②事務事業評価を導入し、10年以上経過。削減効果を上げるため、新たに事業評価を検討したい。

（四） 基金、市債の状況は？

Q ①基金、市債の状況と今後の見通しは？
②合併特例債の利用計画と発行可能残高は？
③交付税算入を引いた市の実質負担額は？

A ①基金は一人当たり約13万円、市債は約52万5千円。令和5年度以降は大型事業の予定はなく、市債が減少見込み。②今後、道路、学校施設、観光施設整備等に活用予定。令和3年度末で発行可能額は約16億7千万円。③約244億8千万円のうち、市の実質負担額は70数億円になる見込み。